

花園大学歴史博物館二〇一六年度春季企画展

# 湯島麟祥院 春日局と峨山慈棹



二〇一六年 四月二日「土」―六月四日「土」

開館時間 10時～16時（土曜日は14時まで）

休館日 日曜日、五月五日（木・祝）・六日（金）

※但し、大学行事により臨時休館する場合があります。

主催 花園大学歴史博物館・公益財団法人 禅文化研究所

協力 麟祥院（東京都）

入館料 無料

## 出品リスト

指定 区 文京区指定文化財

### 麟祥院と春日局―創建と展開―

No.	指定	作品名称	作者等	員数	品質・技法	法量 (cm)	時代	所蔵	前期	後期
1	区	春日局像	狩野探幽筆	一幅	紙本着色	縦七〇・七 横三四・七	江戸時代（十七世紀）	東京・麟祥院	○	○
2		春日局像		一幅	紙本着色	縦七三・八 横三四・〇	江戸時代（十七―十八世紀）	東京・麟祥院	○	○
3		春日局像	狩野探幽筆	一幅	紙本着色	縦五四・七 横三五・三	江戸時代（十七世紀）	京都・麟祥院	○	○
4		徳川家光朱印状写		一通	紙本墨書	縦三六・二 横五一・〇	〔原本〕江戸時代 寛永十一年（一六三四）	東京・麟祥院	○	○
5		徳川家光朱印状		一通	紙本墨書	縦四五・四 横六一・九	江戸時代 寛永十一年（一六三四）	京都・麟祥院	○	○
6	区	春日局消息（渭川周瀏宛）		一卷のうち一通	紙本墨書	縦三三・五 横四五・五	江戸時代 寛永十三年（一六三六）	東京・麟祥院	○	○
7	区	春日局消息（荊巖玄珪宛）		一卷のうち一通	紙本墨書	縦三三・五 横三〇・三	江戸時代 寛永二十年（一六四三）	東京・麟祥院	○	○
8		渭川周瀏像	頑海慈湛賛 円水宜応筆	一幅	絹本着色	縦一一・〇 横五一・六	江戸時代 明和三年（一七六六）	東京・麟祥院	○	○
9		渭川周瀏墨蹟「争如独坐虚窓下 葉落花開自有時」		一幅	紙本墨書	縦八六・六 横二七・二	江戸時代（十七世紀）	東京・麟祥院	○	○
10		渭川周瀏墨蹟印可状（付与…荊巖玄珪）		一通	紙本墨書	縦三六・三 横五〇・〇	江戸時代 寛永十六年（一六三九）	東京・麟祥院	○	○

11	渡唐天神図	渭川周瀏賢	一幅	紙本墨画淡彩	縦六九・五 横二八・〇	江戸時代（十七世紀）	東京・麟祥院	○
12	雲居希膺墨蹟尺牘（追悼および慶讃偈）		一通	紙本墨書	縦二八・三 横六二・四	江戸時代 寛永十九年（一六四二）	東京・麟祥院	○
13	南泉斬猫図	物外紹播賢	一幅	紙本墨画	縦五三・八 横三〇・〇	〔画〕室町―桃山時代（十六世紀） 〔賛〕江戸時代（十七世紀）	東京・麟祥院	○
14	義山全應像	頑海慈湛賢 円水宜応筆	一幅	絹本着色	縦一〇・二五 横四四・七	江戸時代 明和五年（一七六八）	東京・麟祥院	○
15	天澤山麟祥院法規中興記	松尾直員筆	一卷	紙本墨書	縦二八・三 横一三二・四	江戸時代 明和五年（一七六八）	東京・麟祥院	○
16	頑海慈湛像	自賛 水谷憬南筆	一幅	絹本着色	縦九三・七 横二七・五	江戸時代 明和二年（一七六五）	東京・麟祥院	○
17	詩	堀田正亮筆	一幅	紙本墨書	縦三六・〇 横五七・九	江戸時代 延享四年（一七四七）	東京・麟祥院	○
18	臨濟王常侍相見図	堀田正亮賢 狩野典信筆	一幅	紙本着色	縦五六・四 横一〇五・一	江戸時代 宝暦九年（一七五九）	東京・麟祥院	○
19	達磨慧可対面・龍虎図	狩野典信筆	三幅	紙本墨画	〔各〕縦一二八・九 横五〇・八	江戸時代（十八世紀）	東京・麟祥院	○
20	趙州戴鞵・両堂首座図	狩野典信筆	二幅	紙本墨画	〔各〕縦九三・〇 横三五・九	江戸時代（十八世紀）	東京・麟祥院	○
21	白糸の滝図	狩野典信筆	一幅	紙本墨画	縦三五・七 横五七・四	江戸時代（十八世紀）	東京・麟祥院	○

麟祥院と峨山慈棹―ゆかりの禅画―

22	峨山慈棹像	隠山惟琰賢 高田円乗筆	一幅	絹本着色	縦九八・七 横三七・五	江戸時代（十八―十九世紀）	東京・麟祥院	○
23	光格天皇謚写勅書（大方妙機禪師）		一幅	紙本墨書	縦三四・五 横五一・六	江戸時代 文化五年（一八〇八）	東京・麟祥院	○
24	滴水宜牧墨蹟 峨山慈棹百年遠諱香語		一幅	紙本墨書	縦三九・二 横六九・四	明治時代（十九世紀）	東京・麟祥院	○
25	槌子図	峨山慈棹自画賛	一幅	紙本墨画	縦三三・八 横五七・一	江戸時代（十八世紀）	東京・麟祥院	○
26	柿に烏図	峨山慈棹自画賛	一幅	紙本着色	縦九〇・八 横二二・五	江戸時代（十八世紀）	東京・麟祥院	○



